

マ・ハンストア ニュース

YAMAHA No.38 '84-3-'84-4

沖縄

めんそうれ

寒波に震える東京を後に南の島「沖縄」を訪れたのは初めて。沖縄といえはやはり夏、サンゴ礁に映えるエメラルドグリーンが主役だ。この時期（2月～3月）の沖縄は、一年のうちでも一番天候が不安定という。案の定、那覇空港におりたら雨、平均気温16℃から18℃という暖かさに毛皮のジャンパーは見あたらなかった。

戦後の長い苦しい時代から、海洋博を基点とした観光沖縄への変り身は、南国情緒をセールスポイントに、みごとに実を結びつつあるようだ。空港のあちこちに見られた「めんそうれ沖縄」の看板、その数の多さに地元の熱の入れようが感じられた。



南国の花「ブーゲンビリア」

長寿者人口比率No.1

那覇空港からタクシーで市内のホテルへ。何年前には見当らなかった高速道路らしきものや、大きなホテルが次々と建つ様は、近代化の波なんて悠長な言葉では追いつかなくなっているような迫力を感じる。ふとタクシーのドライバーを見るとかなりの年配のおじいちゃん！ラジオからは地元の民謡をリクエストするDJが流れる。そういえば、この温暖な気候とおいしい空気、恵まれた自然の中での生活は、日本でも有数の長寿地域だという。ハイテックな感覚で忙しく生きる都会風今人にとって、忘れていたものを感じさせる運転手だった。



糸満漁港に並ぶ「サバニ」

那覇から名護へ、そして石川へ戻って南の糸満へ。かつての地元の漁師たちがサバニに乗って遠くインド洋、南太平洋にまで出かけたという、勇壮な男たちがいたところだ。糸満の地名も、その昔インド洋へ渡った男たちが、「東から来た人々」として「イーストマン」と呼ばれたことに始まる



子礼門

と聞いたことがある。港には、大きな新型の漁船に混って、独特なスタイルの「サバニ」が並んでいた。その木造の船首に彫られたカラフルな色と模様にいにしえの男たちの「誇り」を見たようだ。

琉球衣裳をまもってモデルをする現代っ娘



魔除けのシーサー(獅子)

イーストマン

レンタカーを駆って本島を半



琉染の草木染



トロピカルな沖縄の海は美しい

国際通り

「奇跡の1マイル」といわれる那覇の繁華街。横文字の多い看板、肌の色が幾通りも行き交うメインストリート、まさにインターナショナルな街である。この国際通りのほぼ中心にあるのが三越タワー、その前から始まる300メートルほどの平和通りに、那覇の人々の日常生活が息づく。沖縄の女性は働き者が多いと聞くが、店を守るのは大半が女性、いって



琉球ガラスのお店(国際通り)

みればおばあちゃん。解放的な南国ムードを見て歩くのも楽しいものだ。

THE琉球文化

沖縄には、京都・奈良・長崎に匹敵する史跡と文化財がある……といわれる。1437年、琉球王国として統一、日中両国の影響、また南方文化を育みながら成長した音楽や舞踊、食物に織物、焼物、塗器、玩具など、それぞれが深い味わいと歴史の重みを感じさせてくれる。栄華の面影を残す首里は、いにしえの王都。そこにある琉染は、草木染めの工房としてじっくりと「琉球文化」を觀賞できる。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
						●下弦				春分の日			○望	彼岸の入り			亀島の潮干祭(愛知県半田市)			●上弦	丹後の浜祭(京都府宮津市) 帆手祭(宮城県釜石市)			申大野の船出神事(鹿児島県串木野市)	啓蟄		●朔	ひな祭 磯遊び		

3月

弥生



暖国からは花の便りも届くようになりました。
北国や日本海沿岸の漁の口開けも間近、日増しにマリーナの賑わいも戻っていきます。
ニューシルバーマシンも、全国津々浦々に登場、ご好評をいただいております。
3月上旬には東京と神戸で水のシーズンの開幕をつげる「国際ポートショー」が開催され、ヤマハでは、春の「船出点検キャンペーン」と「デインキー・モニター募集」をスタート——。はずむ春にふさわしい活発なご商売をご展開ください。

水のシーズン開幕

'84国際ポートショー

ボートファン期待のポートショーは、今年も東京、神戸両会場で華々しく開催。

第23回東京国際ポートショー

●3/1(木)～3/5(月)までの5日間 ●東京晴海、東京国際貿易センター

第3回神戸国際ポートショー

●3/9(金)～3/12(月)までの4日間 ●神戸ポートアイランド、神戸国際展示場

船出(2710円)点検キャンペーン

- 期間… 2月15日～4月末日
- 特典… 期間中にヤマハ船外機の点検サービスを受けられるお客さまは、標準点検料(40馬力以下、全国平均5,000円)のほゞ半額、2,710円で同じサービスが受けられます。

このキャンペーンは、「ニューシルバー・キャンペーン」の第2弾として行うもので、お客さまに船外機の定期的点検の重要性を啓蒙し、点検サービスを有料化することで、マリンストアーさんに安定した工賃収入を確保、オイル、パーツ用品、関連商品等の増販を計らうとして行われるものです。

ヤマハ販売、特約店のサービスマンとご相談の上、積極的にご開催下さい。

デインキーヨット(YAMAHA-11 Mimi HopperII)

モニター募集

●応募期間 / 3月1日～4月30日

スタイリングを一新、性能もよりアップして登場の「ミニホッパーII」(YAMAHA-11II)、そのモニターを全国から募集。期間中に応募された方々の中から抽選で20名様に「ミニホッパーII」を1年間、無料で貸与し、1,100名様を「ヤマハ ONE DAY セーリング」に無料でご招待いたします。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	
	天皇誕生日	御船祭(千葉県館山市)				●下弦				穀雨	船みこし(福井県丹生郡越前町) 浜下り(福島県相馬郡鹿島町)			土用入 伴旗祭(石川県珠洲市)	○望	佐渡島祭り(新潟県両津市)	渥美御衣祭り(愛知県渥美郡)				●上弦	青柴垣神事(島根県八束郡)			懸魚祭(静岡県焼津市)	清明	大瀬船祭り(静岡県沼津市)			●朔

4月

卯月

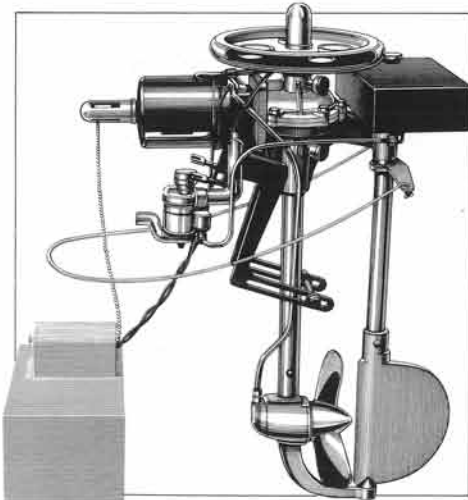
YAMAHA
AUTOLUBE

船外機のデザイン
ニユーシブルバーマシンでは...

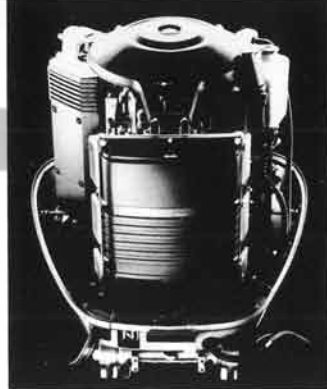
船外機の誕生

船外機は、19世紀が20世紀に移り変わろうとする頃に生まれました。1891年（明治24年）にスエーデンで、どうやら船外機と呼べるようなものが誕生し、同95年にはイギリスで、ロープの輪でボートの船尾にとりつけ、チェーンを使ってプロペラを回転させる「ウォーター・モーター」が、同じ頃にフランスでは「モーター・オール」が、次つぎに誕生したのです。

アメリカでは、1906年に「船外機」という言葉を作ったウォーターマン氏（苗字までが水男、水に縁のあるものも不思議な暗合ですね）が、壊れたバイク・エンジンを椅子



1914年製、ウォーターマン
・C-14Xモデル



の背にとりつけて修理中に、もしも、この椅子の背がボートの船尾だとしたら……と、また、エビンロード氏は、女友達に頼まれたアイスクリームをローボートを漕いで買いにいって、その帰り道にそれを溶かしてしまった時に、ローボートにとりつけられるエンジンがあつたらなあ……と、それぞれ、船外機の

船外機にもデザインが必要になった

それに続く時代の船外機は、「ローボート・モーター」とか「カヌー・モーター」といわれた、2〜4馬力が主流で、いずれも、エンジンの上にフライホイールをのせ、細長い弁当箱のような燃料タンクを背負い、クローム鍍金やアルミの材質でピッカピカの、似たような恰好をしていました。

そこで、自社の船外機を他社のそれと区別し、より目立たせるためには、ネームプレート以外にも何か工夫する必要が生じてきました。当時の船外機で一番人目をひくところは燃料タンクで、そこに、メーカーや製品名などを装飾的に描きこむようになりました。船外機にも、看板のような商業デザインが要求されるようになってきたのです。

1934年（昭和9年）に、船外機のパネルは大きく変わりました。アメリカの1社がそれまでは殆どむきだしに近かったシリンドラ、キャブレターなどのエンジン部を海水

着想がヒラメイタと伝えられています。

そうした発明家たちの作った初期の船外機は、「ゴーチー挽き機」と綽名されたものもあるように、機能一点張りの無骨なスタイルでメーカーや型式名などを刻んだ、金属板のネームプレートをエンジン部につけていただけでした。

だから守るためのエンジン・カバー、カウリングを考案しました。「キラキラ輝やく、流線型のカウリング」と、大宣伝されてはたまりません。他の船外機メーカーも競ってカウリングをとりつけるようになりました。

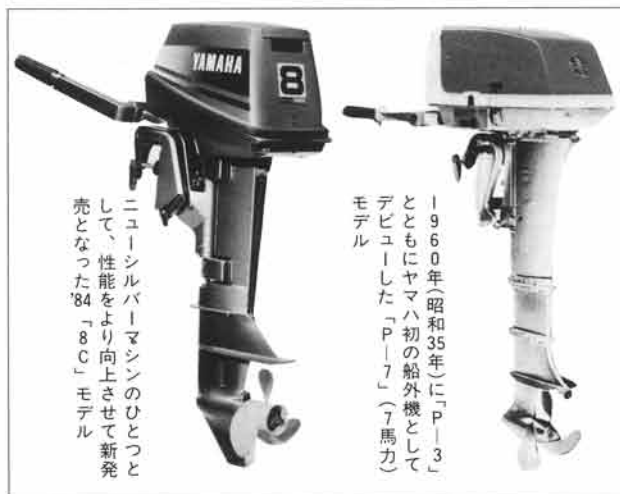
やがてカウリングがエンジン部だけではなく、燃料タンクも一体化してカバーするようになると、そこにイラストが描かれるだけではなく、カウリングそれ自体のかたちにもメーカーごとに工夫がこらされ、自動車のスタイリングのような、工業デザインが重要視されるようになってきました。

……こうした、外国製船外機の歩みにつれ

まず、ユーザーの立場で考える

船外機のデザインはデザイナーとエンジニアの協同作業で進められます。ヤマハ船外機をデザインする時に、両者がまず考えることは、その船外機を使う側、つまり、ユーザーサイドに立ったものの見方をすることです。

設計者は、使いやすさ、性能、フィードバック、コストと、船外機に要求されるあらゆる要素を考慮に入れて設計にあたり、デザイナーも、使いやすさ、性能、機能から見た美しさを描き、設計者との対話の中から最良のデザインを創っていきます。



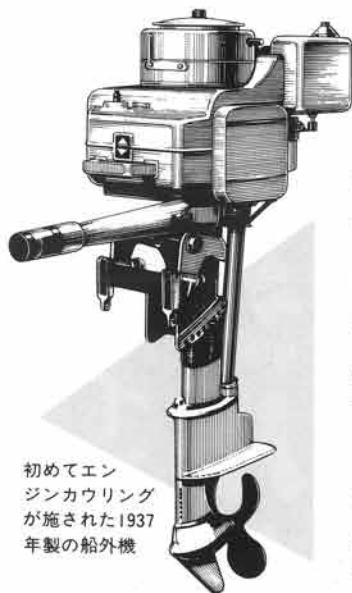
1960年（昭和35年）に「P-13」とともにヤマハ初の船外機としてデビューした「P-7」（7馬力）モデル

ニューシルバーマシンのひとつとして、性能をより向上させて新発売となった84「8C」モデル

で、1960年にヤマハ船外機は、カウリングが黄色のP-3、朱色のP-7の2機種で色鮮やかにデビューして以来24年、今年には2〜220馬力まで全22機種が、ニュー・マリンスルバーの装いも新たに、ズラリ勢揃いするまでになりました。

商品としての船外機の特徴は、船外機はそれ自体ではせいぜいポンプとか、発電機に使えるだけで、それがボートと結びついてはじめて、そのボートの有効な動力装置として働く……ということでしょう。だから、船外機のデザインは、船外機自体のかたちばかりではなく、ボートとのマッチングにも大いに気を配らなければなりません。

また、船外機は、それが店頭飾られたり、船台や繋留されたボートの船尾にとりつけられている、つまり、静止している状態だけではなく、水の上を疾走している状態も考えて



初めてエンジンカウリングが施された1937年製の船外機



デザインは外側から内側へ

船外機デザインの一般的な進めかたは……
① 基本構想がまとまる

② 木型モデルをつくる

③ クレー（粘土）で造型する

④ クレーモデル各部を測定する

⑤ 図面をおこす（コンピューターも使用する）

⑥ プロトタイプ（ひな型）をつくる

⑦ 塗装、グラフィック、テーピングなど、最終デザイン処理をする

……そうして出来上がったものを、いろいろと検討してデザインを決定します。こうした手順は自動車のデザインと基本的に変わりはありません。

船外機のデザインは、このような外面型状だけではなく、カウリングを取り外した時に現われる、エンジン回りにも目を向けて、エ

プロペラまでもヤマハらしさを

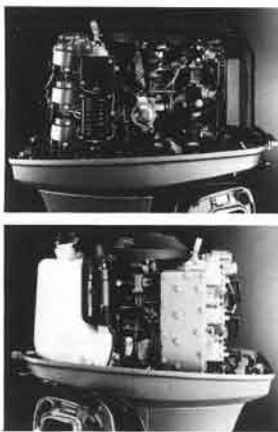
プロペラの設計も、スピード、加速など、船外機用プロペラに要求されるいろいろな性能を追求しながら進められていきます。この

デザインされる必要があります。

話が少し難しくなるかもしれませんが、同じように、止まったり走ったりする自動車のデザインとくらべてみると、船外機のデザインの方がよりグラフィック（線描的な装飾部分）な要素が強いので、船外機デザインでは、デザインのはじめから、もののかたちを

エンジン本体及びそれに付属する補機類のレイアウトにも、デザイナーの手が入っています。自動車のボンネットを開けた時に、エンジンが整然とレイアウトされて現われるように、船外機のエンジンも整然と、美しく見えなければなりません。つまり、ヤマハ船外機のデザインは外面だけではなく、その内側にも行われているのです。

こうした船外機内側のデザインにあたっては、設計者とデザイナーが最良のレイアウトを協同で決めていきます。その為には、時には実機モデルを用いて、接着剤やテープを使ってシミュレート（模擬テスト）したりして、検討を行う時もあります。



段階でも、もちろん、コンピューターは大いに活用されます。また、コンピューター解析の結果、限られた範囲内で、デザイナーの腕

をつくる、立体デザインと、それを飾る、グラフィックデザインを同時に進行していかなければならぬし、グラフィック自体も、走っている時には流れるような、また、空や水によく映える、カラッとしたものを選ばなければなりません。

をふるえる余地のあることもわかりました。その範囲内で、デザイナーもヤマハらしいプロペラづくりに参加しているのです。

そして '84年ヤマハ船外機は

'84年のヤマハ船外機のカウリングは、単気筒からV型6気筒まで、シリンダー別の5群のかたちには、それぞれ多少の差異はありますが、いずれもすっきりと近代的にまとめ、2馬力から220馬力まで、全22機種（22機種）の主体色はすべてメタリック・マリンシルバーです。黒からグレイに階調的に変化する帯状のパターンに、YAMAHAの文字がパッチリと映え、従来、ヤマハ船外機デザイン上のひとつの特徴だった、赤いラインも細く配して、色鮮やかなアクセントをつけています。

あらゆる角度から機能と扱いやすさを追求し、新機構をプラスして、より使いやすく、より高性能になった、'84年ヤマハ船外機は、やはり、それにふさわしい新しいデザインで……と、そうして生まれたニュー・シルバー・マシンには、洗練された精悍さが一段と加わり、今や話題の、熱い視線の、焦点となっています。

ヨット入門者のための新しい教室 「ヤマハONE DAYセーリング」

ヤマハでは、ヨット普及のための教室として、これまでマリンスタアさんとも連携して「ヨットینگ・ルーム」と「ヨット教室」を各地で開催してきましたが、今年から、この二つの教室に、「ONE DAYセーリング」を加え、開催いたします。

この「ヤマハONE DAYセーリング」は、ヨットに乗ってみたいがその機会がないといった人々を主な対象に、新発売の「YAMAHA A-18」を準備してセーリングを体験



する一日を楽しんでいただくとともに、ヨットに関する初歩講座も学んでいただくもの。開催日、開催場所、参加費用など、詳しくは改めてご案内しますが、お店からお客さま方へのご案内もよろしくお願いいたします。



一月末現在、史上空前の豊漁 今シーズンのノリ

全国海苔員類漁業協同組合連合会（東京都港区高輪2-16-5）が発行する「海苔速報」第24報によると、今年度（58年度）の全国ノリ共販出荷数は1月29日現在、累計で、58億2600万枚に達し、前年同期に比べ24億0800万枚の増加。今年ノリ漁はたいへん早いペースで生産、出荷されています。また、今年ノリは、同日現在でみる限り金額的にも好漁。同日現在の累計平均単価は14円89銭、総金額（累計）は867億5000

英語表現を間違えてしまった 千葉県銚子方面の「ハイカラ釣り」

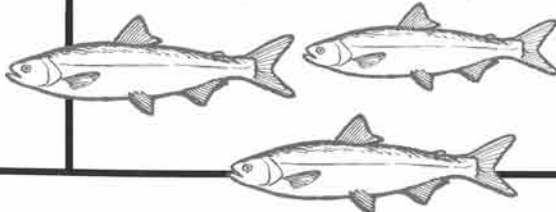
「ハイカラ釣り」は千葉県銚子方面の独得な釣り。その名前から、ある時期に行われるようになった超近代的、画期的な釣り法と思いきや、これは「数多く使う擬似がたいへんカラフルなので、昔の人がハイカラ釣りと言付けた」とのこと。

この釣りは、枝縄が60〜70本もついた釣糸の先にオモリをつけ、主にサバを狙うもの。昔、「カラフル」が「ハイカラ」となってしまった擬似は、いまは赤のビニールが主流。

サバが浮上しない時は「たも揃い網」で操業できないため、この釣り漁が行われるわけですが、ほとんどの針にサバが喰い付くこともあり、そんな時は、とても引き揚げられない重さになるそうです。

春に四百万尾の 放流を予定 十和田湖のヒメマス

秋田、青森両県が共同運営している「十和田湖ヒメマスふ化場」で、ヒメマス稚魚が順調に成育。二月初旬現在、体長は1.5センチ程度ですが、5センチサイズになる5〜6月に、昨年の160万尾の3倍近い400万尾が同湖に放流される予定となっています。



サビつきの心配ゼロ いま話題のセラミック製ハサミが登場

はさみとかナイフは、フィッシング・ファンや漁師さんの必需品。でも、塩水で使うのでサビつきが困りもの。ところが、いま話題の「セラミック」でできたハサミが登場。テンスター・ハイミックシリーズは硬度が抜

群（ハガネの8倍強）、サビつきの心配なし。ミニバサミ2000円。値段の方は一般的とはいえませんが、きれ味もまあまあ。お客さまにおすすめてははいかがですか。
三玉商事 ☎03-662-8564

本屋さんでも 「フィッシング・フェア」

84年の釣りシーズンにさきがけて、東京・晴海の国際貿易センターで開催された、第22回東京フィッシング・ショーが、大寒波にもめげずに大盛況裡に幕を閉じたと思つたら、なんと、今度は東京は神田の本のデパート・書泉グランデが、釣り本フェアをはじめるといふ。

アは釣り一色。つり関係の新古書籍、つり雑誌のバックナンバー、入手し難い地方出版の釣り本、さらには、フィッシャーマン・ウェアのコーナーも特設するという。今年も、釣りライターは一層白熱気味です。
●書泉グランデ 〒1101 東京都千代田区神田神保町1-3
☎03-245-0011

電気毛布なら知っているが



電気チヨッキ(ベスト)には驚いたナ

春のボーティング、フィッシングにでかけるお客さまは、陸上のよい陽気にツイ誘われて、軽装で海に出掛けられることが多いものです。そんな時のアドバイスは、夏でも冬仕度です。

肌寒くなったり、ボカボカ暖かくなったりする、春の季節はベストが重宝する季節です。釣り機能ポケット満載のフライ・ベスト、携帯に便利な、ポケットブルのダウン・ベスト、

救命胴衣もかねたフローティング・ベスト、なかには、就寝中に充電しておけば7時間はボッカボカという、電気ベストという変りグネがあるのはごぞんじですか？

でも、海の上のベストは救命胴衣が一番。いちばん油断ならないのが、のたりのたりの春の海です。ボートに乗ったら、降りるまで救命胴衣着用を忘れずにアドバイスしましょう。

東京「船の科学館」で海のまつり展・開催 6月30日まで

東京湾は江東の埋立地にある「船の科学館」で、まつりに見る人と船といったサブタイトルがついた「海のまつり展」が2月10日より、6月30日まで開催されています。

東京の海のまつり、千葉の海のまつり、神奈川の海のまつり、全国各地の海のまつりと四つのコーナーに分け、写真パネル展示とヒ

デオで各地の海の祭りを紹介。会場には東京品川の「カッパ祭り」で実際に使われるみこしも展示され、「今後は貸していただけるみこしなどをなるべく多く展示し、みなさまに見ていただきたい」とのこと。このコーナーへの特別の入場料はなし。

●船の科学館 ☎03-528-1111

春のボーティングはまず足で「ソックスから

太平洋沿岸地帯にも、よく雪の降る年です。都会では雪に足をとられてスッテンコロリ、怪我をした人も大勢出ました。

そんな中で、この日はかりと巾を利かせたのが、アウトドア・スポーツファン、スパイクつきの磯釣りブーツ・滑りどめ絶対のヨック・ティンク・ブーツ、さすがに、アイゼンつきの登山靴は見かけませんでした。

雪の日の効用は例外としても、はじめてボ



ートやヨットに乗る時には、足こしらえまではなかなか気が回らないものです。ボーティング、ヨック・ティンクの年期的ほどは、デッキ上の身のこなしを見ただけで、ズバリ判断できるといいます。デッキという不安定な地面に「足裏でシッカリつかまる」には、デッキシューズとかマリナーブーツで足こしらえる。「トップサイダー」、「ロミカ」など、ヤマハ・マリン用品をお勧めください。

ボート釣りの本は意外に少ないのですが...

これほど釣りの本が出ていても、ボート釣り専門の本となると意外に少ないものです。そんな訳で発行日の古いものもまじりますが、ボート釣り関係の本をリストアップしてみました。お客さまにお勧めしたり、お店にお備えになるのもよいでしょう。

- 「フローリング入門」 小沼康弘著 オヌマリン(株)発行 〒170 東京都豊島区西巣鴨3-7 康申塚ビル ☎(03) 918-4335
- 「ボート釣りのすべて」 石井沖芳著 西東社発行 〒101 東京都千代田区神田錦町3-15 ☎(03) 291-5815
- 「ルアーブリー入門」 井上博司著 西東社発行 住所・電話番号 左記に同じ
- 「船釣り必釣作戦」 坂根稔著 産報出版(株)発行 〒110 東京都台東区東上野4-25 ☎(03) 842-0511



食品にもマリンブーム

養のバランスがマスコミで論議され、話題となり、ビタミンやカルシウムなどの栄養補助食品、錠剤入りの塩が食卓に並ぶ光景も、そう珍しいことではなくなりました。

ところが、海の向うのアメリカでは、そうした栄養補助食品にかわって、今や魚貝類のブームです。ダイエット食品としての「寿司」、ベンジャミン・フランクリン医学博士の著書「老化は食べ物が原因だった」(日本語訳は市川桂子・青春出版社から刊行)……で、食品中に含まれている核酸、それを大量に含んでいる「いわし」が注目されると、それが日本にも伝わって、空前の「いわしブーム」、大洋漁業発売の「いわしソフトマーガリン」の売行きも好調。

オクサンの作る手料理やお弁当を、なんの不思議もなく食べていた時代は、もう終わってしまったのでしょうか？ 現代生活の忙しさが外食の数を増やし、老齢化社会が進んでいるためか、食生活上の采



そのほかにも、ナマコ、タコ、イカ、貝類のヌルヌルに含まれているタウリンは、左利きに心強い強肝剤とか、このところ、食品にちよっとしたマリンブームが続いています。

お客さまたちはみなさんのお店のどんなところが気に入っているのでしょうか——
このページではなるべく多くのマリンストアさんをお訪ねし、各お店のプロフィールをご紹介します。

地元育ち、豊富な情報が大きな強み お客さまとは持ちつ持たれつ…長いおつき合いを

（株）栄家 代表者 桜井 勝さん（37歳）千葉県木更津市貝淵

●お店の性格／漁業が9割以上
●お店の人びと／桜井 勝さん；営業・サービス、平野治男さん、長田運次さん；サービス、鈴木富美子さん；事務・経理

千葉県の木更津は、昔からノリ養殖がさかんなところ。栄家さんは現在、木更津市を中心に、富津市、一部は竹岡まで、約500軒のノリ屋さんを主なお客さまとしています。

同店が船外機の販売・サービスをするようになったのは昭和40年。いまでは桜井勝さんが店の代表者として採配を振っています。創業者は、勝さんの義理の父親の桜井栄さん。当時、木更津の中心街で食堂・「栄屋」を経営されていた栄さんは、大の釣り好き、当時としてはまだ珍しい船外機を自分の釣りに取りつけましたが、それを見たノリ屋さんたちが、「ぜひ分けてくれ」ということから、栄家さんの船外機販売がはじまりました。

現在、栄家さんは和船・船外機のみならずノリ製造機械の販売・修理も行っており、ノリシーズンはてんでこ舞いの忙しさ。桜井勝さんたち「男手」は無線付きのサービスカーで、浜やノリ屋さんの乾燥場をとびまわり、店番をする鈴木さんと連絡を取り合います。

「無線だと車の中にいる時だけしか連絡がとれない、その点、ポケットベルの方がいいんだが、仕事（修理中）に呼び出され、修理を待っている人がいると聞くと、いまやっている修理もおちついてできなくなってしまう。だから、ポケットベルは使わないことにしているんですよ」と語る桜井さん。それだけに同店のきちんとしたサービスは定評があります。

商圏内のノリ屋さんは1300～1400軒。同業者も多い中でその三分の一強が同店のお客さま。

「多くのお客さまにおつき合いいただいているのは、友だちに恵まれているためでしょう。私の生まれ育ったのがこの町だけに、幼馴染のノリ屋さんも多いんです。店が忙しい時にはそんなお客さんたちがよそのノリ乾燥機の組立までも手伝ってくれます。お客さんたちとは持ちつ持たれつ…計算ずくでやったらいつとき合いはできませんね」

ノリについてメッポウ詳しい桜井さん。地元はもちろん他県の動向もよくご存知で、お客さんの質問に充分応えることができるのも桜井さんの強味。これも多くのノリ屋さんたちの支持を得ている要因となっています。

浜で、乾燥場で、お客さまたちと友だちのように親しく話す桜井勝さん



「シルバーマシン」が活躍しはじめた木更津のノリ漁場（中）と、店に近い貝淵港

長年の安全点検キャラバンで 知名度100パーセント

（有）長島鉄工所 長島松雄社長（71歳）神奈川県三浦市下浦町

●お店の性格／漁業が9割以上
●お店の人びと／長島幸雄専務（43歳）；営業、田中充則さん；サービス

※長島鉄工所さんは船・エンジンの販売の他に農機具の販売と給排水・衛生設備の工事もされており、そちらには身内の方3名、従業員3名が従事しています。

昭和20年に船用エンジンの修理を主な仕事として創業、昭和42年から船外機の販売・サービスもはじめられた長島鉄工所さんは、いわば「老舗」です。

お店のある三浦市は三浦半島の南部で、遠洋漁業の基地・三崎港や、城ヶ島、三浦海岸などで知られ、相模湾側には、油壺やシーボニアなど我が国を代表するマリナーもあって、マリンスポーツの一大メッカとなっています。

三浦半島における和船（船外機）やドライブ船による漁は、ワカメ養殖、一本釣り、刺網漁などで、半漁師的な人が多く、同店のお客さんはこうした人々が中心です。

商圏は地元、三浦市全域と横須賀市で、東京湾側が横須賀市の三春町や安浦町まで、相模湾側は、三浦郡葉山町の手前の秋谷まで。アフターサービスの関係で、車で一時間以内に行ける所」に限っています。

「お客さんの船外機はほとんどが9.9馬力以下の小さいもの。台数的にはかなり売れるが、金額的にははいたしたことないよ」と謙遜する長島専務。

ここ十数年来、重要な販促活動として実施されてきたのは、ヤマハのサービスマンとともに商圏の浜をくまなく回る春と秋の「安全点検サービスキャラバン」で、春は3月～5月までの3ヵ月間、秋は、需要が高まる冬場を前に、11月に行われています。

「一時は、このキャラバンに「下取りセール」をからめて、かなり成果をあげたが、ここ数年はちよつと不振だね。何月、何日にそちら



↑長島幸雄専務（右）とサービスの田中充則さん
←同店の春の安全点検キャラバン風景



に行きますよと、事前の告知を徹底させれば、もつと効果上がるのかもしれないが、これがむずかしいんだよ。とくに三浦市は組合や浜が多い。行けるところはなるべく行くように努めているのだが、天気などによって、当初のスケジュール通りに回れないことが度々あるんだよ」

長年にわたるこのキャラバン活動によって三浦の漁師さんの間では店の知名度は100%。「いまさら宣伝ということもないと思うが、今年あたりは、このキャラバンをもう少し検討して、もつとパンチのあるものにしてほしいかな」と長島専務は語っておられました。

修理代金がスムーズにもらえるように 一丸となって努力

(株)薩摩モーターボート商会 市成忠一社長(57歳)
兵庫県神戸市長田区西尻池町

●お店の性格／漁業が9割以上
●お店の人びと／本社市成社長と女子事務員2名、営業所井上啓惣所長、平田洋己さん、佐藤禎佐恵さん、松本学さん、サービスマン兼営業、山田愛子さん、事務、経理

鹿児島県出身の市成忠一社長にちなんだ店名の薩摩モーターボート商会さんは、社長以下8名。マリンストアさんとしては数多い従業員を擁えるお店です。

昭和27年、34年にかけて、競艇関係のボート・エンジンの検査や整備の仕事をしてきた市成社長は、やがてレジャーボートの販売もするようになり、昭和35年に現在地(本社)に事務所を構えました。ところが当時はボート遊びをする人はごくわずかで、「店が5軒もできたら、もう喰べていけない」と考えた市成社長は、ノリ漁や網漁を営む須磨、西垂水、舞子方面の漁師さんたちに着目。漁師さんに対する船外機の販売に取り組み、一時はこの地域の船外機の90%を販売。その後、商圏を明石にまで伸ばし、6年前、ここに営業所を設けて販売・サービスの拠点としました。4、5年前からボート関連機器の開発・製造・販売にも着手、そのひとつとして「手動油圧操舵装置」を全国に販売しています。ま

市成忠一社長と女子事務員さん



揃いのツナギ姿はさすがプロ、明石営業所のみなさん。

た、県の外務課からの要請に応じて、パラオからのサービス技術研修生をサービス工場に迎えるなど、ご紹介したいことは多いのですが、同店で成功しつつある「サービス代金の請求と回収」にしばってご紹介しましょう。全国のマリンストアさん、とくに漁師さんたちをお客さまとするお店では、この「サービス代金」に頭を痛めている方が少なくないでしょう。

同店では、例えば、部品をも含む商品の仕入れ(月日・機装品・機番)とその納入先がひと目でわかる、取引先別の「貸借対照表」を作成するなど、帳票類が整備されており、在庫商品や顧客の管理が本社と営業所の両方で行われ、しっかりと行われる方法をとっています。

同時に、4名のサービスマンを擁する同店では、サービス部門の採算性を考慮。「お客さまを困らすことのない、迅速で、適確なサービスを常に心がけるとともに、「修理明細書」を添えて、適正な修理代金の請求を確実に「行う」ことを社内で徹底。

すでに電気業界など他の業界では当然のこととなっている「出張代」や「工賃」の請求・回収がスムーズになるように努め、その成果は着々とあがっています。

展示会の開催を機会に 積極的な宣伝活動

藤マリン 代表者 藤浦富雄さん(35歳)大阪府泉南郡阪南町尾崎

●お店の性格／もともと漁業市場で現在も漁業需要が中心だが、レジャー客も増えている
●お店の人びと／藤浦富雄さん、漁業部門の営業とサービス、藤浦庄司さん、レジャー部門の営業、サービス、政木屋さん、工場長、阪本さん、サービス、大谷さん、集金、配達、三浦さん、事務

「一にも二にも、まずアフター(サービス)。お客さんから電話があれば夜でもとんでいき、時間内に間に合わせます。それを従業員にさせるわけにはいかないから、私たちは休みなしですわ」(藤浦富雄さん)は、兄の富雄さんが漁業需要部門を、弟の庄次さんがレジャー需要部門を分担する兄弟経営。地元漁協の役員でもあり、創業者であった父親の後を継いで頑張っています。

5月末か6月の初めに行われる「漁業総合展示会」は同店恒例の一大イベント。土・日曜の2日間行われるこの展示会には少ない時間で4000人、多い時は6000人のお客さんたちが集まるそうです。

「船やエンジンばかりでなく、関連機器、ノリ機械も並べます。予算は100万円ぐらい。告知は折り込みチラシを4万枚ほどまいてします。この2日間は同時に「藤マリンのサービスマン」で、この日の契約分に限って割引とか、在庫処分を兼ねた超特価品も用意するので成約もかなりあります。

しかし、この展示会は基本的には、年に一度の「藤マリンとお客さんたちのお祭り」、店の宣伝になればと思ってやっています。取引先にもいろいろ協力・援助してもらおうのですが、まあ、赤字になったことはありませんね」と富雄さん。

一方、3年ほど前から庄次さんが中心となって増やしてきたレジャーボート客。やはり



1階…サービス工場、2階の一部…事務所、3階にはボート免許教室会場を持つ店舗

漁業需要担当の藤浦富雄さん(右)とレジャー担当の庄次さん

釣りボートが主体ですがその商圏は広く、北は大阪市から南は和歌山県日高郡まで及びます。店独自の免許教室も年に2、3回開催。末の弟さんが地元・樽井港で水産会社を営んでいる関係から、お客さんたちのボートを港に置くことができるのも同店の特色のひとつ。また、庄次さんも会員のひとりとして40名のお客さんがメンバーの「藤マリンフィッシングクラブ」も一昨年に発足、その釣り大会はヤマハボートフィッシングコンテストを含めて、年に4、5回行われています。

レジャー客を対象に、「うちとしては比較的大きなボートとなるF-22やF-24などの契約を期待する」という「レジャーボート展示会」も毎年2月に開催。これは折り込みチラシ4万枚とDM5000枚で告知され、同店の宣伝活動のひとつの柱となっています。

漁師さんたちの“生情報”も……

釣りクラブのメンバーでいつも活気ある店内

山口マリンサービス 山口博史さん(39歳)大分県別府市元町

- お店の性格/レジャー7割、漁業3割
- お店の人びと/山口博史さん、しのぶさん(39歳)

山口マリンサービスさんは、今年で創業5年目です。別府駅から歩いて10分足らずのこの場所に、店を構えたのが3年前。現在、このお店を事務局として活動する釣りクラブが2つあります。別府和船クラブ(新納平吉会長、会員28名)と、別府オーシャンクラブ(渋谷幸徳会長、会員16名)です。

そのオーシャンクラブの事務局長・森高義さんを中心に、メンバーの方がたから山口マリンサービスさんの魅力についてうかがってみました。

①立地条件がよい
「以前は漁協事務所だったこともあって、漁師さんたちも気軽に立寄る。メンバーは仕事の帰りにも顔を出せるし、ホート遊びの行き帰りには必ず立ち寄ります」
生活圏の中心に「お店」遊び場所があるこの立地条件のよさが便利だと話してくれました。

②釣り情報がダイレクトに入る、そして、「顔を出す漁師さんからプロの情報が得られるばかりでなく、コミュニケーションをよくすることでトラブルも未然に防げます。これは、海で遊ぶ私達にとって得がたいものです。情報交換の場、人間関係を円滑にする場にとっても役立つようです。

「マリンの仕事が混んでいる時は、漁師さんのエンジン修理優先、私達のはその後回して貰います」
「気配りを話す森さん。マリンとは山口さんの通称、お客さまは親しみをこめてそう呼んでいました。」

③マリンの腕と奥さまの笑顔

「独立する時は、ヤレツヤレツってけしけたくらいじゃけ」と奥さまのしのぶさん。2年前には4級免許をとりました。

「船に弱いくせに、仕事に必要だからと免許をとるガンバリ屋さん。ビス一本を買いにきた見知らぬお客さんでも、お馴染さんと同じようにお茶を出す。奥さんには当り前のことかもしれないが、お客にとっては嬉しいですよ。奥さんのお茶の良さも人気のひとつでしょう」
山口さんとは家族ぐるみのおつきあいだという、片山さんの言葉に、みなさん頷くばかりです。

ご主人の確かな腕と、留守を守って店を切りまわす奥さまの朗らかサービスに、山口マリンサービスさんの人気の秘密があるようです。



山口さんを中心に釣り談議の花が咲く店内



「マリン」ファンのお客さまたちに囲まれて…山口さん(左から3人目)と奥さまのしのぶさん

創業20余年「これからは息子の時代だ」 抜群のチームワークでお客さんの信頼集める

(有)小松野機械店 小松野繁社長(57歳)熊本県宇土市長浜町

- お店の性格/漁業9割、レジャー1割
- お店の人びと/小松野繁社長、敏さん、雅義さん、坂本好教さん

島原半島と天草諸島に抱かれて、内海の穏やかな景観が続く島原湾。それでも雲仙岳越しの風はまだ冷たく、ノリ漁もとりやめなければならぬほど、荒れる日も時にはあるそうです。

宇土線の「肥後長浜」駅から歩いて5分足らず、国道324号線沿いの長浜港のすぐわきに、小松野機械店さんがあります。今年で創業20年目を迎えるお店は、同族経営だけにチームワーク抜群、しっかりしたアフターフォローがお客さまに評判のマリンストアさんです。

「創業当時は出張修理によく自転車でもまわったものです。今は自動車でお得意先をまわるのは息子の役目。私は、もっぱら店に持込まれたものの修理を引き受けています」とご主人の繁さん。そうは言っても現在のお客さまの殆どはご主人が育てたものです。開業以



左から坂本さん、二長男の敏さん、奥さんの松子さん、小松野繁さん、次男の雅義さん

来の長いおつきあいのお客さまも少なくはありませんと胸を張ります。

長男の敏さん(25歳)は「現在のお客さまは親父のもの」と割り切っています。「商売以前に人間性だというのが親父の口癖なので、時にはバカになって遊んだり、サークルに参加したり、いろいろな経験を積んで自分を大きくしたい、太うなりたいです。人の和を大切にして商売していきたいですね」と二代目の抱負を語ります。

昭和54年に営業・経理面の助っ人として入社した、義弟の坂本好教さん(51歳)は「経理は身内で囲めたほうがいい、徐々に次男の雅義君(20歳)にバトンタッチしていきます。将来は営業・業務サービスは敏君、レジャー客の開拓と経理は雅義君、私が補佐して、社長が全体をみるというかたちにしていくつもりです」

修理や問合せの電話が入るたびに、せわしなく出入りする敏さん。兄弟でやればお客さまも安心でしょう」と息子の働きぶりに満足気に話すご主人でした。



二子宇土の漁場でも「シルバーマシン」は好評。お客さんと一緒に敏さん(左)と雅義さん(中央)

YAMAHA ブランドコンピューター魚探

《YFシリーズ》3機種★新発売★

世界初の「感度インジケータ」と「海底判別オート機構」を採用。《YF-330A・B》は水深を、《YF-350A・B》は、水深と水温をデジタルで表示。記録紙上には魚影、底質に加え、水深目盛も同時記録します。



YF-310A
No.90890-44693
¥98,000

- 測深範囲0~160m(6レンジ)●感度インジケータ付(世界初)●海底判別オート(世界初)●干渉防止●表層除去回路付(STC)●ワンタッチカセット式紙送り機構(紙送り速度6mm~35mm/分)可変●周波数200KHz●出力80W●電源DC-12V●W240×D145×H227



YF-330A(浅場用)
No.90890-44694
¥138,000

- 測深範囲①0~5m②0~10m③0~20m④0~40m⑤0~80m⑥0~160m●コンピュータースケール(プッシュ式レンジセレクター)●水深デジタル表示●感度インジケータ付(世界初)●海底判別オート(世界初)●干渉防止●表層除去回路付(STC)●ワンタッチカセット式紙送り機構(紙送り速度6mm~35mm/分)可変●周波数200KHz●出力90W●電源DC-12V●W240×D145×H227



YF-350A(浅場用)
No.90890-44696
¥168,000 水深・水温表示計付

- 測深範囲①0~5m②0~10m③0~20m④0~40m⑤0~80m⑥0~160m●コンピュータースケール(プッシュ式レンジセレクター)●水深・水温デジタル表示(水温計センサー付)●感度インジケータ付(世界初)●海底判別オート(世界初)●干渉防止●表層除去回路付(STC)●ワンタッチカセット式紙送り機構(紙送り速度6mm~35mm/分)可変●周波数200KHz●出力90W●電源DC-12V●W240×D145×H227

YF-330B(深場用)
No.90890-44695
¥138,000

- 測深範囲①0~80m②60~140m③120~200m④0~160m⑤120~280m⑥240~400m●ワンタッチカセット式紙送り機構(紙送り速度6mm~35mm/分)可変●周波数50KHz●出力100W●その他の仕様はYF-330Aと同じ

YF-350B(深場用)
No.90890-44697
¥168,000

- 測深範囲①0~80m②60~140m③120~200m④0~160m⑤120~280m⑥240~400m●ワンタッチカセット式紙送り機構(紙送り速度6mm~35mm/分)可変●周波数50KHz●出力100W●その他の仕様はYF-350Aと同じ

浅場用を深場用に、
深場用を浅場用に簡単に変える

**“モジュール”(独立部品)
も新開発**

《YF-330A・B》と《YF-350A・B》は、この“モジュール”と“発振器”の簡単な交換で浅場用が深場用に、深場用が浅場用に、たちどころに変身します。



YMO-55
No.90890-44703
¥68,000
YF-350A(浅場用)
↓
YF-350B(深場用)

YMO-250
No.90890-44702
¥68,000
YF-350B(深場用)
↓
YF-350A(浅場用)

YMO-50
No.90890-44701
¥58,000
YF-330A(浅場用)
↓
YF-330B(深場用)

YMO-200
No.90890-44700
¥58,000
YF-330B(深場用)
↓
YF-350A(浅場用)



もうお店にお備えになりましたか?

'84年版《ヤマハ マリンアクセサリ カタログ》

ヤマハが発行する《マリンアクセサリカタログ》はかくれたベストセラー。お客さまたちはこれを見て、マリンレジャーの夢を一層ふくらませます。'84年版ができあがっています。お店にお備えになるのはもちろん、お客さまたちにおすすめしても喜ばれます。

《特長》

- カバンにピッタリのA4サイズ、5.5%の薄さで130ページ
- 豊富な商品群
- わかりやすい分類と目次
- 主力商品群には、わかりやすく充分なセールス、ポイントが...

頒布価格/¥3,800

YAMAHA

ヒットを待つ
あの緊張感は、
釣人だけの
贅沢だ。



YAMAHA FISHING BOAT



YAMAHA-30c II



YAMAHA-26c EX



YAMAHA-18



YAMAHA-13 cicada II



YAMAHA-11 Mini Hopper II



YAMAHA PACIFIC CRUISER 26



YAMAHA FISH 26



YAMAHA STR-21RX



釣りは、
大物を追
続ける
旅なんだ。

YAMAHA FISHING BOAT

お店を潮の香いっぱい。

プレジャーボート・ヨットの各種ポスターを用意しております。

お店を美しく、そして潮の香いっぱいのお店に——、ご活用ください。



ヤマハマリンストア ニュース No.38 ●発行 59年2月15日 ●発行人 原田敏光 ●発行所 ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538321111